

藤野地区町内会連合会

ルピナス 230



第113号

令和4年6月15日(水)



藤野地区町内会連合会 会長 吉田 健治

令和四年度を迎えて

今年も、新型コロナ感染の心配がなくならないまま新年度を迎えることとなつてしましました。

一昨年の令和二年度の総会は中止、昨年度は「書面総会」で行いましたため、三年ぶりの定期総会を、さる五月七日に藤野地区センターにおいて開催しました。それも、飲食時の十分なコロナ感染予防対策は困難であるとの判断から総会後の懇親会は今年も中止とさせていただきましたが、あらためてご了承をいただきたいと思います。

昨年度は、大きな行事などはほぼ自粛を余儀なくされ、地域の皆さんとの交流を深めることはできませんでした。仕方のないこととはいえ、誠に残念でなりません。

新年度は、平年どおりの計画案・予算案でご承認をいただきました。今年こそ少しでも多くの事業が実行できますことを期待する次第です。

ふるさとまつり中止決定 関連7頁

最近になつて、ワクチン接種が進み、医療体制に一時ほどの危機感がなくなつたせいか、規模縮小とはいえ、大通ビアガーデンやよさこいソーランまつりの再開など、世の中が少しずつ動き始めた感があります。注目されたゴールデンウイーク終了後の状況も、心配される状態に至ることなく迎えたようです。このまま一日も早く収束の声が聞かれることを、心から念願しております。二年以上にわたる自粛期間に慣れてしまつた感があり、再起動を果たすには相当の活力を必要とされると思いますが、地区内十九の町内会が一層連携を深め、英知を寄せ合って乗り越えていきたいと思います。

どうか会員の皆様におかれましても、引き続き「マスク着用・こまめな手洗い・消毒」など感染予防に留意され、ご健闘で日々を過ごされまますようお祈りいたします。

総務部長 八重崎 泰則

令和四年度

事業計画

必要最小限の状況となりました。

令和四年度の定期総会は五月七日（土）十一時より藤野地区センターアリーナで、各町内会の代議員、町連理事、役員が参加して開催されました。

吉田健治町連会長の挨拶のあと、藤野第一町内会西野清氏を議長に選出し議案の審議に入りました。

新型コロナウイルス感染の収束が見通せない時期ではありましたが、三月二十五日の理事会において、感染対策の徹底と懇親会は中止とする形式で実施することが決定され、三年ぶりの開催となりました。

事業計画の柱として、【藤野地区まちづくりビジョン】に基づく基本理念（＊みんなで考え、みんなが参加する＊地域への誇りと愛着心＊いきいきと暮らせる＊活動を通じた連帯感）に基づき【花とみどり・文化と福祉のまち藤野】をまちづくりの指針とし各部の活動が計画されています。

昨年度は、年度当初から新型コロナ感染拡大で『まん延防止等重点措置』や『緊急事態宣言』が発令されたことにより実施した事業は

今年度も各部の連携した活動により【住んでよかつた藤野】のまちづくりに全力を尽くしてまいります。

ワクチン接種が進んではいますが未だに感染は高止まり感があります。各行事等については感染予防を最重点として理事会等で協議し判断してまいります。



藤野地区町内会連合会の定期総会

I 概要

前年度に引き続き「藤野地区まちづくりビジョン」に掲げる基本理念を根底にして、花とみどり・文化と福祉のまち藤野をまちづくり指針に掲げ、七項目の目標と課題に取り組み、組織一丸となつて活動することにより「住んでよかつた藤野」のまちづくりに邁進する。

五、藤野地区内の各単町並びに各種団体等との連携を深めるため、令和五年ふるさと藤野新年交礼会を企画し、開催する。

六、恵まれた自然に調和したまちづくりを一層推進するため、関係機関等との連携を深め、花いっぱいの事業を推し進める。

II 各部門別個別活動計画

総務部

一、藤野地区まちづくりビジョンの具現化に向けた事業の推進と関係機関との調整を図る。

二、会報「ルピナス」の充実により藤野地域の情報発信に努め、各単町間の情報交換を一層緊密にし、各町内会活動の活性化と充実に努める。

七、藤野地域に根ざした伝統と文化を守るため、藤野音頭、藤野太鼓の普及に務めるほか、文化展を開催し、文化のまちとして向上を図る。

八、住民のさらなる高齢化、依然として止まらない少子化等に対応するため、各種行政機関や藤野地区社会福祉協議会等と連携し、社会福祉活動の充実強化を図り福祉のまちとしての一層の向上を図りふじの子育てサロン

また、各町内会の連携を深め、町内会運営の効率化・レベルアップを図るため、各町内会長による情報交換・交流を深めることに努める。

九、安全安心のまちづくりを遂げるため各行政機関等との連携を深め、自主防災力の強化や研修

四、藤野地区各単町の連携を深め、住民の一体感を一層高めるため、第三十回藤野ふるさとまつりを実施する。なお実施にあたっては、会場を十五島公園とし、開催時間・会場設営等についても各関係機関との連携により実施する。

会等によりスキルアップを図る。

十、専門部組織のあり方・活動内容等について検討を行なう。

十一、定山渓沿線町内会連絡協議会の一員として、沿線地域課題への積極対応を行なう。

①国道二三〇号線の定山渓区間拡張事業

②豊平川堤防道路の延長事業

③シーニックバイウエイの一環とした地域づくり事業

④定山渓沿線地域の公共交通（バス）運賃の不公平の是正について

⑤「小金湯さくらの森」の運営に伴う各種支援。

十二、藤野地区町内会連合会の財政を含め特別積立金運用の在り方について『特別積立金検討委員会』を理事会に設置し次年度藤野地区町内会連合会定期総会に答申書を議案として提出する。検討委員会の人選・人数については理事会で決定する。

十三、平成二十四年度定期総会決定の「特別積立金」について、適切に管理し運用する。

十四、各部の事業予算執行にあたっては経費の節約・効率化に努め充実感ある運営を目指す。

十五、藤野まちづくりセンターと共に催して『藤野ゆきあかりの小路』を制作する。

会計部

一、町連会計業務全般、会計監査への対応。

二、令和四年度の予算編成において、令和二・三年度は新型コロナ感染防止のため行事等が自粛となりそれにより繰越金が増加となつたため、令和四年度に限り各町内会からの「町内会連合会会費」を免除することとしたい。

ナ感染防止のため行事等が自粛となりそれにより繰越金が増加となつたため、令和四年度に限り各町内会からの「町内会連合会会費」を免除することとしたい。

一、女性部役員会議・女性部会4回講習・研修会。（各種出前講座の活用）

二、リーダー研修。（施設見学会）

三、がん検診の推進。

四、女性部新年交流会。（第十五回女性交流の集い）の開催。

五、交通安全母の会による交通安全全街頭啓発・新入学児童の啓発。

六、藤野・簾舞地区合同大型店舗にて交通安全啓発。

七、南区女性連絡協議会（九地区女性部）の一員として連携を深める。（協議会会議・意見交換会・施設見学会への参加）

一、会報「ルピナス230」（113号）の発行。（7,500部）

二、ふるさとまつりチラシ作成。

三、地区社協ほか関係諸団体との連携、協力、支援。

四、地区福祉活動交換会のサポート支援。

二、青少年部長会議の開催。

二、ふるさとふじの子ども会議・鑑賞会のあり方について検討する。

三、フットズで遊ぼう。（育成委員会

主催・青少年部共催事業）

四、新春書初め会・新春かるた大会の開催。（青少年部主催・育成委員会共催事業）

一、少年少女ドッジボール大会の実施。

二、豊栄山（フツズ）登山（3回）

三、藤野地区パークゴルフ大会の実施。

四、雪中運動会の実施。

五、町連体育部長会議の開催。

六、藤野太鼓、藤野音頭、藤野贊歌

七、文化展の開催。（九月上旬予定）

八、藤野の文化の普及と伝承。（藤野太鼓、藤野音頭、藤野贊歌）

九、藤野地区センター内「ふるさとコーナー」の展示物を通じ、地域の歴史と文化の伝承に役立てる。

文化部

一、交通安全運動街頭啓発の実施。（年四回、R230まちづくりセンター周辺）

二、少年消防クラブBFC「ふじの」活動への補助。

三、花いっぱい運動の推進。（歩道美化事業、サポートプログラムとの連携・町内会毎の植栽）

地域安全部

一、交通安全運動街頭啓発の実施。（年四回、R230まちづくりセンター周辺）

二、少年消防クラブBFC「ふじの」活動への補助。

三、関係会議（札幌地区防犯協会連合会、南防犯協会連合会、南区防火委員会、南区交通安全推進委員会、札幌市南地区暴力追放

四、町連資材倉庫整備作業。

体育部

一、少年少女ドッジボール大会の実施。

二、豊栄山（フツズ）登山（3回）

三、藤野地区パークゴルフ大会の実施。

四、雪中運動会の実施。

五、町連体育部長会議の開催。

六、藤野太鼓、藤野音頭、藤野贊歌

七、文化展の開催。（九月上旬予定）

八、藤野の文化の普及と伝承。（藤野太鼓、藤野音頭、藤野贊歌）

九、藤野地区センター内「ふるさとコーナー」の展示物を通じ、地域の歴史と文化の伝承に役立てる。

環境部

一、環境部長会議の開催。

二、クリーンさつぽろ推進協議会の研修会・役員会等への参加。

三、花いっぱい運動の推進。（歩道美化事業、サポートプログラムとの連携・町内会毎の植栽）

青少年部

一、青少年部長会議の開催。

二、ふるさとふじの子ども会議・鑑賞会のあり方について検討する。

三、フットズで遊ぼう。（育成委員会

運動推進協議会、南警察署少年補導員連絡協議会、安全安心まちづくり道民会議）への参加。

令和3年度 藤野地区町内会連合会一般会計決算書[期間 R3/04/01~R4/03/31]

収入の部

科 目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	増 減	摘要
繰越金	1,877,530	1,877,530	0	
町連会費	1,636,750	1,636,750	0	6,547世帯×250円
市等からの助成金	3,195,810	2,524,619	△671,191	
地域振興 町連	744,700	744,700	0	算定基準による世帯割100円、均等割 9万円(住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,289,110	1,289,110	0	6,547世帯×130円+基準割額(住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	1,102,000	470,809	△631,191	南区地域ふれあい事業助成金藤野ゆきあかりの小路
防災活動支援事業	60,000	20,000	△40,000	単町1町内会
募金交付金	110,000	109,597	△403	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	680,000	361,943	△318,057	広告料17万円、会費7万、日赤3万円、コピー等8万円
その他収入	680,000	800,976	120,976	社協使用料50万円、事務所借上補助18万円、備品積立(12万)
合 計	8,180,090	7,311,415	△868,675	

支出の部

科 目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	増 減	摘要
諸経費	3,270,000	2,346,559	△923,441	
事務費	870,000	612,882	△257,118	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)通信費 印刷費、コピー機リース代16万円
交通費	100,000	100,000	0	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	430,000	279,813	△150,187	新年交流会26万、その他経費2万
会議費	470,000	70,837	△399,163	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	50,000	49,700	△300	慶弔諸費用(2件)
渉外費	260,000	160,000	△100,000	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	280,000	260,866	△19,134	防火2万円、防犯3万円、沿線協議会13.4万円、南区成人式3万、他4万円
その他経費	810,000	812,461	2,461	賃借料72.8万円、損保2万円、除排雪他6.2万
事業費	2,100,000	905,847	△1,194,153	
総務部費	30,000	23,395	△6,605	総務諸経費(情報委員会含)
広報部費	490,000	583,688	93,688	ルピナス発行3回、印刷他編集・取材費等
体育部費	210,000	13,303	△196,697	通信費
青少年部費	230,000	37,586	△192,414	書初め会、かるた会2.6万円、通信費
女性部費	180,000	30,139	△149,861	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	250,000	81,710	△168,290	敬老メッセージ6.2万、事務費等
地域安全部費	95,000	0	△95,000	
文化部費	100,000	3,520	△96,480	藤野文化の伝承 等 関連経費
環境部費	65,000	11,610	△53,390	環境清掃、クリーンさっぽろ、花いっぱい運動(ガーデニング・歩道美化)
ふるさとまつり事業費	450,000	120,896	△329,104	藤野ゆきあかりの小路12.1万
地域振興 単町 助成金	1,289,110	1,289,110	0	住民組織助成金
募金交付金	110,000	109,597	△403	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	60,000	20,000	△40,000	1町内会
予備費	1,350,980	0	△1,350,980	
小 計	8,180,090	4,671,113	△3,508,977	
	0	0	0	
繰越金(預金・現金)	0	2,640,302	2,640,302	
合 計	8,180,090	7,311,415	△868,675	

令和4年度 藤野地区町内会連合会一般会計予算[期間 R4/04/01~R5/03/31]

収入の部

科 目	令和3年度決算額	令和4年度予算額	増 減	摘 要
繰越金	1,877,530	2,640,302	762,772	
町連会費	1,636,750	0	△1,636,750	6,548世帯×250円
市等からの助成金	2,524,619	3,196,040	671,421	
地域振興 町連	744,700	744,800	100	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,289,110	1,289,240	130	6,548世帯×130円+基準割額(住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	470,809	1,102,000	631,191	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり、藤野ゆきあかりの小路
防災活動支援事業	20,000	60,000	40,000	単町3町内会
募金交付金	109,597	110,000	403	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	361,943	680,000	318,057	広告料17万円、会費40万、日赤3万円、コピー等8万円
その他収入	800,976	680,000	△120,976	社協使用料 50万円、事務所借上補助18万円
合 計	7,311,415	7,306,342	△5,073	

支出の部

科 目	令和3年度決算額	令和4年度予算額	増 減	摘 要
諸経費	2,346,559	3,050,000	703,441	
事務費	612,882	770,000	157,118	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)通信費 印刷費、コピー機リース代16万円
交通費	100,000	100,000	0	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	279,813	430,000	150,187	総会・懇親会11万、新年交流会29万、その他経費
会議費	70,837	350,000	279,163	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	49,700	50,000	300	慶弔諸費用(2件)
涉外費	160,000	260,000	100,000	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	260,866	280,000	19,134	防火2万円、防犯3万円、沿線協議会13.4万円、南区成人式3万、他6.6万円
その他経費	812,461	810,000	△2,461	賃借料72.8万円、損保2万円、除排雪他6.2万
事業費	905,847	2,134,000	1,228,153	
総務部費	23,395	50,000	26,605	総務諸経費
広報部費	583,688	520,000	△63,688	ルピナス発行3回、48.4万円印刷他編集・取材費等
体育部費	13,303	210,000	196,697	スポーツ・レクレーション活動(ドッヂボール、雪中運動会、PG、登山会等)
青少年部費	37,586	200,000	162,414	ふるさとふじの子ども会議・鑑賞会14万円、書初め会かるた会他3万円、部会2万
女性部費	30,139	180,000	149,861	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	81,710	250,000	168,290	敬老メッセージ7万、子育てサロン他18万
地域安全部費	0	110,000	110,000	地域安全街頭啓発6万、少年消防クラブ2万円、各種会議3万
文化部費	3,520	100,000	96,480	地域文化展、写真展・藤野文化の伝承 等 関連経費
環境部費	11,610	64,000	52,390	環境清掃、クリーンさっぽろ、花いっぱい運動(ガーデニング・歩道美化)
ふるさとまつり事業費	120,896	450,000	329,104	ふるさとまつり30万、藤野ゆきあかりの小路15万
地域振興 単町 助成金	1,289,110	1,289,240	130	住民組織助成金
募金交付金	109,597	110,000	403	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	20,000	60,000	40,000	
予備費	0	663,102	663,102	
小 計	4,671,113	7,306,342	2,635,229	
	0	0	0	
繰越金(預金・現金)	2,640,302	0	△2,640,302	
合 計	7,311,415	7,306,342	△5,073	

札幌市南区長
着任のご挨拶



札幌市南区長

四月一日付けで南区長に着任いたしました奥村でございます。

南区区制五十周年という節目の年に、南区の仕事に携われることに大きな喜びとともに、重責をひしひしと感じております。

さて、ここ二年余りの期間は、新型コロナ・ウイルスの感染拡大に翻弄された日々でした。藤野地区におきましても、「ふるさとまつり」、「文化展」などの各行事が軒並み中止を余儀なくされたと聞いております。日常の生活においても、気兼ねしながら外出したり人と会つたり、思うように活動できなかつたりと、いろいろと不自由を感じ

に掲げられている「花とみどり・文化と福祉のまち藤野」という理念にあるように、美しく豊かな自然は藤野の大きな魅力となっています。藤野では、このような自然環境をより一層魅力的に見せる「花いっぱい運動」が盛んに取り組まれており、また、福祉分野においては、「高齢者の見守り活動」や「子育てサロンフェスタ」などに力が入れられています。こうした皆様の取組は、まさに、「住んでよかつた藤野」のまちづくりを推進するものであり、その熱心な活動に対し心より敬意を表します。今後も、

どの各種取組を銳意進めているところです。今後も「南区芸術祭」をはじめ、新しい事業を計画していますので、藤野地区の皆様にもうご協力、ご参加いただければうれしく思います。

じながらの生活だつたのではない
かと拝察します。このような状況
が早く打開され、元通りの活動が
再開されるとともに、生活の安寧
が一日でも早く戻ることを願うば
かりです。

冒頭で触れましたように、今年
度は区制五十周年の記念すべき年
に当たり、南区では、専用ホーム
ページの開設やラッピングバスの

さまざまなお祭りや文化活動が活発に行われ、ますます充実した地域へと発展していくことを期待します。

藤野まちづくりセンター所長
就任二年目の挨拶



藤野まちづくりセンター所長

南区役所といったとしても、藤野地区と密接に連携しながら、「地域が主体のまちづくり」を精一杯支援してまいりますので、藤野の皆様におかれましても何卒ご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

りわけ印象に残っています。協働していただいた町内会と老人クラブの皆様には大変お世話になりました。この雪あかり事業は藤野の冬の風物詩として地域の皆様と一緒に今後とも大切に育てていきたいと考えております。

令和四年度の人事発令で藤野まちづくりセンター（まちセン）での勤務を言い渡され、今年度で三年目となります。地域の皆様には

どうぞよろしくお願ひいたします。
これまでの二年間は新型コロナ・
ウイルスの感染拡大があり、地区
最大のイベント「ふじのふるさと

それでは、今年度一年間、地域の皆様と共に汗を流し、精力的に働いて、悔いのない年を送りたいと考えていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

まつり」をはじめ、町内会行事のほとんどが中止となつたため、まちセンならではの仕事を経験でき



春の交通安全を呼びかける街頭啓発が四月十四日（木）午前十時半から、藤野地区センター前の国道230号線沿いで行われました。藤野地区町内会連合会、藤野地区交通安全運動推進委員会、藤野地区交通安全母の会などが主体となり百六人が参加して「スピードダウン」「飲酒運転根絶」などと書かれた旗をかざして、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

市民総ぐるみの交通安全運動は、毎年、春、夏、秋、冬に実施。歩行者の安全確保、飲酒運転の根絶、シートベルトの着装などを重点目標に掲げています。

街を花で飾ろう。藤野地区町内会連合会環境部（古川和夫部長）が中心となつた「花と緑230花街道ふじの」花苗植え活動が、各町内会で活発に展開されました。参加したのは道開発局のサポートプログラムによる三町内会と歩道美化事業十一町内会合わせて十四町内会で、植えた苗の総数は一万八百十株になりました。土起こしや花植えを行いました。町内会のほかに道銀ふじの支店、トヨタカローラ札幌藤野店、藤野郵便局の社員や従業員の方々も、今回初めて参加されました。

十五島町内会（岩崎幸男会長）では四月三十日（土）に土起こしと肥料散布、五月二十一日（土）に花植えをしました。場所は一条七丁目南北通りと十五島公園横のグリーンベルトで、土起こしには二

春の交通安全街頭啓発

「街を花で飾ろう」



花に散水

内会連合会環境部（古川和夫部長）が中心となつた「花と緑230花街道ふじの」花苗植え活動が、各町内会で活発に展開されました。

参加したのは道開発局のサポートプログラムによる三町内会と歩道美化事業十一町内会合わせて十四町内会で、植えた苗の総数は一万八百十株になりました。土起こしや花植えを行いました。町内会のほかに道銀ふじの支店、トヨタカ

十二人、花植えには二十六人参加しました。マリンゴールドなど五種類約一千七百株で、参加した役員やボランティアらは心地良い汗を流していました。



十五島町内会の花植え

日本赤十字社北海道支部
マスコットキャラクター「アンリー」

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただいた社資によって支えられています。今年度も引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

編
集
後
記

さて、少し前のことになりますが、北海道新聞の記者コラムに札幌市の南区が日本で最も空気がきれいな場所に選ばれたという記事がありました。大気汚染の実態を監視するスイスの企業が「PM2.5」の観測結果をもとに発表したものが、もしかしたら私たちの消費生活が、汚染度の高い国の大気を汚染しているかもしれないという想像力を持つことが必要というのが、コラムの趣旨でした。藤野の各町内会で行われた花植えの写真を撮りました。五月の薫風に色とりどりの花がかすかに揺れました。

● 印刷所
● 発行人
● 編集人
● ルピナス第一一二三号
● 令和四年六月十五日発行
● 吉田 健治
● 渡部 徹
● 仙北 英治
● 日光広告(株)
● 五九三一〇一二五
● 連絡先